

[参考] J-STAGE Lite (仮称) のご案内

平成26年4月25日

国立情報学研究所電子図書館事業説明会

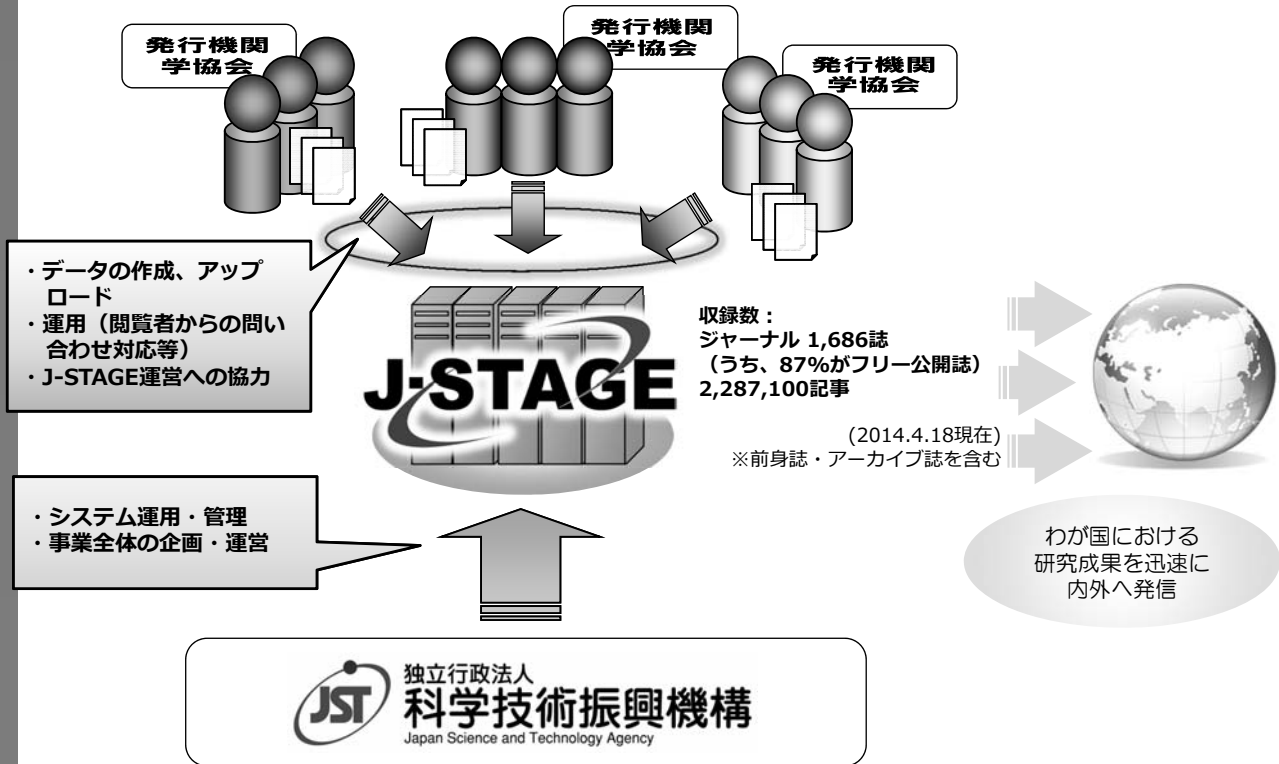
独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)
知識基盤情報部

J-STAGEによる電子情報の流通促進

- 科学技術情報発信・流通総合システム
(Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic)
= 国内最大級の電子ジャーナル発行用共同プラットフォーム
- 国内で刊行される科学技術(人文科学・社会科学に関するものを含む)逐次刊行物の内外への発信・流通促進を目的として運用
 - ISSNの取得が原則
 - 論文等情報の**オープン**な流通促進が基本
(公開を限定する認証機能・課金機能も実装しているが、あくまでオプションとしての位置づけ)
 - アーカイブよりも、最新コンテンツの公開を相対的に重視
- **データの作成・公開・運用は各発行機関(J-STAGE利用学協会等)が行う**

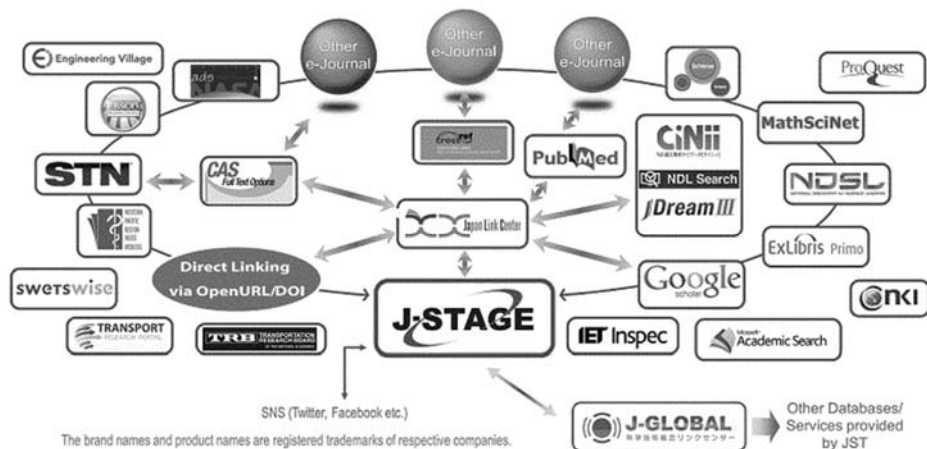
- データ作成・登載作業体制の確保・維持整備
- 閲覧者からの問い合わせ対応体制の確保・維持整備 **が必須**

J-STAGEの概要



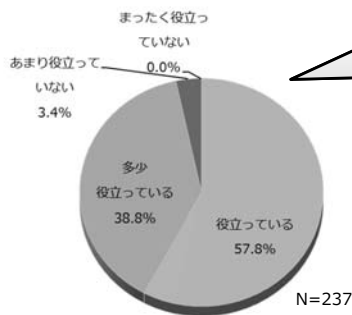
現行J-STAGEシステム・サービス概要

- 査読済み論文を掲載した学術論文誌（ジャーナル）を対象
- 一部ジャーナルには投稿審査システムを提供(利用基準あり)
- CiNiiなど、内外のデータベース・学術情報サービスと検索連携



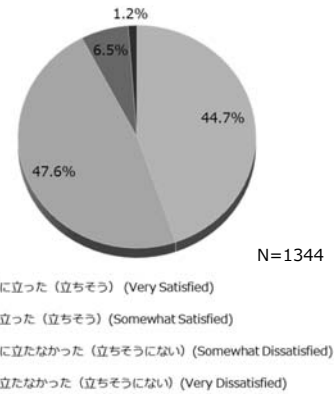
- 早期公開、COUNTER国際規格準拠アクセス統計、CrossCheck(剽窃検知サービス)等、論文情報を電子的にすばやく公開・流通させるための機能・サービスを実装
- 機能の利用には電子学術出版上等の一定スキル・知識が必要な部分も

- J-STAGEの評価・満足度（2014.3実施満足度調査）



利用学協会アンケート：
Q. J-STAGEは貴誌の国際発信力強化に役立っていますか

読者（閲覧者）アンケート：
Q. J-STAGEは役に立ちましたか（役に立ちそうですか）



- オープンアクセスの進展とJ-STAGE

- JSTは、イノベーションを駆動する科学技術・学術情報のオープンな流通を強く推奨

- (参考)「オープンアクセスに関するJSTの方針」(平成25年4月)
http://www.jst.go.jp/pr/intro/pdf/policy_openaccess.pdf

- J-STAGEは、各利用学協会の積極的な参画により、本文情報をフリーで閲覧できる大規模電子ジャーナルプラットフォームとして国際的にも認知



J-STAGEは、オープンアクセス、オープンサイエンスのインフラへ

J-STAGEの新枠組み「J-STAGE Lite（仮称）」

- 背景

- 電子化、オープンアクセス化の進展
- 査読済み科学技術論文掲載論文誌、およびその他の科学技術逐次刊行物を、より広範かつオープンに、簡便な形で内外に流通させるニーズの増大
- J-STAGEのプラットフォームを利用して、上記のようなコンテンツを、単純な手順で公開できる機能実装の必要性

→ 現行J-STAGEシステムの拡張機能により対応へ

- 基本コンセプト

- 既存J-STAGE誌の資格はクリアしない電子ジャーナルも掲載可能に

◆ 既存J-STAGE誌の掲載資格

- 国内の非営利機関が発行する科学（人文・社会科学を含む）技術逐次刊行物であること。
- 査読・審査を経た論文を掲載していること。
- 投稿を広く受け付けていること。（特定の機関内等に限定していないこと）
- 発行機関においてデータの作成・掲載・運用が可能であること。

→ 訂正記事対応（エラータムの発行や記事リンク等）など、ジャーナル品質管理上の運用についても労力・工数が必要

- 科学技術情報流通全般にとっては

- 研究報告書など、用途・公開流通の幅が広がる

- エンドユーザ（閲覧者）にとっては

- 掲載誌の大幅増（記事としてはメタデータの必須項目はこれまでと変わらない）
- “国内の論文全文を読むならJ-STAGE”

J-STAGEの新枠組み「J-STAGE Lite (仮称)」

- 現存リソースを活かして改造により新たな枠組みに対応
- 利用者からはJ-STAGEとJ-STAGE Liteは、一体的サービスとして利用可能なインタフェースを実現する方向
- 基本的な機能
 - 1 記事ごとにアップロードを行う (登録手順例)

Web画面から単純な作業で登録が可能

 1. 書誌情報 (巻・号・開始ページ、タイトル、著者名、著者所属、キーワード、抄録、引用文献リスト等。一部は任意項目) をWebベースの専用画面から入力
 2. 透明テキスト付きPDFをアップロード
※登録に必要なファイルは上記PDFのみ
 3. 内容を確認して公開日を設定
 - 原則として、コンテンツのオープンな公開を推奨。認証・課金機能は、学協会で設定・運用等を行うことにより利用可能 (課金については、クレジットカードによるPay Per View機能の利用が可能(個別にクレジットカード会社との契約が必要。運用コストが発生))
 - 公開日を自由に設定可能 (アップロードの翌日以降を指定できます)
 - 引用文献リンクを自動付与
(仕様には一定の制約条件があります ※網羅性・真正性が保証されるわけではありません)
 - アクセス統計機能、電子付録

機能・サービス仕様等は検討中のものであり、今後変更される場合もございます。また、J-STAGE Lite(仮称)は、現行NII-ELSの機能・サービス等を代替・継承するものではありません。

J-STAGEの新枠組み「J-STAGE Lite (仮称)」

- J-STAGEと連携するジャパンリンクセンター (JaLC) により、各記事にデジタルコンテンツの国際識別子「DOI」を付与 (DOIの付与、運用に係るコストはJSTが負担いたします)



● DOI=デジタルオブジェクト識別子
電子化された学術情報には必須となりつつある国際識別子

(DOIの例)

患者中心の情報管理とそれを可能にする新しいインフォームドコンセント

Patient-centered medical and health information management and dynamic informed consent

森田 瑞樹¹⁾

MORITA Mizuki¹⁾

1) 東京大学大学院情報理工学系研究科 ソフトウェアICT研究センター (〒113-8654 東京都文京区本郷6-3-1) TEL: 03-5841-0899 E-mail: morita@ict.e.u-tokyo.ac.jp
1) Social ICT Research Center, Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo (6-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8654)

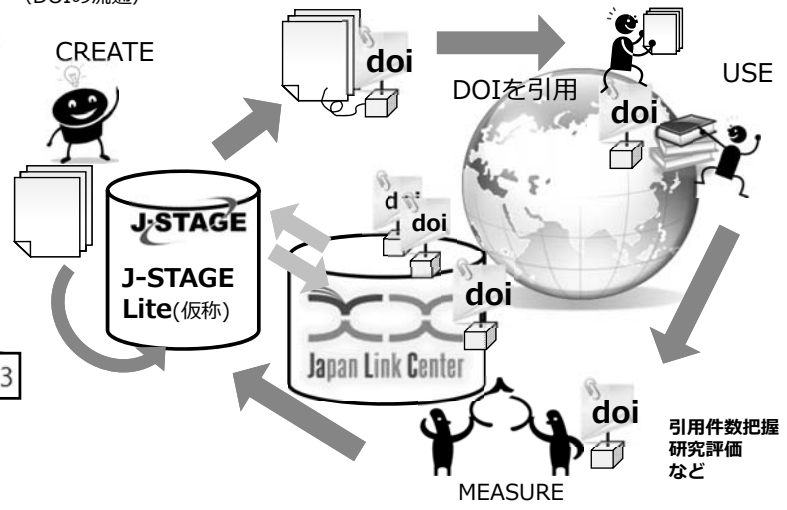
掲載誌: 2014年3月号 doi:10.1241/johokanri.57.3

著者抄録

遺伝情報ははじめとした私たちの健康や生活に大きく関係するものであると同時に、機密性の高い、研究開発において貴重に管理されている。しかし近年、医療・製薬情報を取り扱う装置は大きな変化が起こっており、新しい考え方が必要である。これはまた、患者や一般市民が自分自身の個人情報をコントロールできる範囲を広げ、同時に、患者や一般市民による医学研究への関与を深める可能性を秘めている。こうした状況の変化を踏まえつつ、バイオバンクコンセンサスと呼ばれる情報新しいインフォームド、コンセンサスの考え方を紹介し、医療・製薬分野による

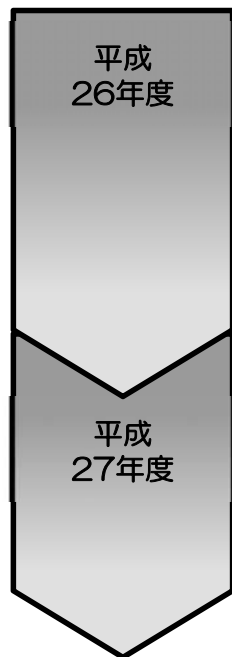
doi: 10.1241/johokanri.57.3

(DOIの流通)



機能・サービス仕様等は検討中のものであり、今後変更される場合もございます。また、J-STAGE Lite(仮称)は、現行NII-ELSの機能・サービス等を代替・継承するものではありません。

スケジュール（予定）



- システム設計、開発、テスト
- 科学技術情報発信・流通総合システム利用規約の改正
（＝J-STAGE Lite向け規約の新設）
（おもな改正(新設)検討箇所）
 - ・ 利用条件の緩和（査読済み論文掲載ジャーナルの限定 等）
 - ・ 「J-STAGEが内外への情報発信流通を目的とすること」「コンテンツの作成・維持・管理責任は発行機関にあること」「J-STAGE運用への協力義務」等の原則に変更はありません
- J-STAGE Lite利用受付開始
- システム・サービスリリース

※スケジュールは平成26年4月現在の予定です。今後変更となる場合もございます。

開発情報・サービスに関する情報ご提供

- J-STAGE Lite（仮称）の開発・サービス提供スケジュール等に関する情報を掲載するページを開設しております
<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/>
[導入検討中の学協会の方]－ [J-STAGE Lite（仮称）の開発について]



関連情報はツイッター、
メールマガジン等でも
配信しております
J-STAGE Twitter :
@jstage_ej

J-STAGE News e-mail

検索